

やくばしょくいん しばたまち しょう ちゅうがくせい みな  
 役場職員から柴田町の小・中学生の皆さんへ  
 ふくちょうちょう み と とし み  
 副町長 水戸 敏見

「感染者の差別が起きないように」

さいきん に ゆーす まいにち しんがたころ なう いる す わーど みみ がっこう  
 最近、ニュースで毎日「新型コロナウイルス」というワードを耳にする。学校の  
 せんせい がかかると ぎゅうこう こ どもがかかると ほごしゃかい おこな  
 先生がかかると休校に、子どもがかかると保護者会が行われたりするそうだ。  
 いちど かかってしまう しゅうい つめ め み られるとも きいた。また、かんせんしゃ  
 一度かかってしまうと周囲からは冷たい目で見られるとも聞いた。また、感染者が  
 に ゆーす しんぶん おお と あ ようす み  
 だとニュースや新聞などで大きく取り上げられる。その様子を見て、ぼくは「お  
 かしいな」と感じるようになった。

なぜかという、いんふるえんざ おな かんせんしょう いちど  
 なぜかという、インフルエンザと同じような感染症なのに、一度それにかか  
 ると まわ さべつ う けていよう な気がするからだ。それは じんけんもんだい  
 りと周りから差別を受けていよう な気がするからだ。それは人権問題にもかか  
 るのではないか。つまり、めでい あ おお と あ ひとびと あいだ きょうふ ふあん  
 りとではないか。つまり、メディアで大きく取り上げ、人々の間で恐怖と不安  
 を うむ。それをまた、めでい あ が取り上げるといふ すばい らる にほん  
 をうむ。それをまた、メディアが取り上げるといふ負のスパイラルが、日本をと  
 りまいていのではないか。かんせん あたた め み  
 りまいていのではないか。感染しても温かい目で見えてあげてほしいなと思  
 う。 (ふくおかけんちくごし ちゅうがくせい)  
 (福岡県筑后市・中学生)

ふくおかけん す ちゅうがくせい がっこうしんぶん よ ぶんしょう むね あつ  
 福岡県に住む中学生が、学校新聞に寄せた文章です。胸が熱くなりました。  
 いぎりす てれびに ゆーす ちりょう お きたく ひと きんりん かた  
 イギリスのテレビニュースで、治療を終え帰宅する人を、近隣の方たちが「お帰  
 りなさい」あたた でむかえ ようす つた う いる すかんせんしょう かか  
 りなさい」と暖かく出迎える様子が伝えられていました。「ウイルス感染症に罹  
 った人 ひと わる が悪いんじゃない。きひ う いる す  
 った人が悪いんじゃない。忌避すべきはウイルスなんだ」ということを心 ころ きざ  
 に刻ま なければ おも  
 なければと思います。これだけのやくさい  
 厄災です。いつ みちか かんせんしゃ はっせい  
 身近に感染者が発生してもしか  
 たありません。でも おお ほんにん なん お ど  
 多くは、本人には何の落ち度もないは  
 ずです。みんな で、しゃかい じょうきょう う 受け入れ、そして手  
 助けを しあひながら かんせんしょう しゅうそく ま いがいてだ  
 助けをしあひながら感染症の収束を待つ。それ以外、手立  
 てはありません。「ただ おそ  
 正しく恐れる」ということは 難しいこ  
 とです。「わからない」ことを むやみに おそ  
 ことをむやみに恐れしたり、ごまかし  
 て あんしん  
 安心しようとする ことこそ、いちばんきけん  
 一番危険なことだと知るべ  
 きです。がくしゅう  
 学習するしかないのだと思います。ころなう いる す  
 コロナウイルスとは どういう せいしつ  
 性質の 物で、ひと しゃかい  
 人は、社会は、どんな えいきょう う  
 影響を受けざるをえないのか。どうなれば あんしん  
 安心できるのか、またそれは どういう ことによつて はんだん でき  
 判断出来るのか。みんな で かんが  
 考えていかなければなりません。「ただ あんしん  
 正しく安心する」そんな ひ ちか  
 日も近いはずです。



じかい ふなはざまくにのりきょういくちゅう  
 次回は、船迫邦則教育長です。